

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 富秋地区

1. 事業の概要

【事業の目的】

- ・ 本事業は、基幹排水路整備により農地の湛水被害及び過湿被害を解消することで、農業経営の安定を図り地域農業の振興に資するものである。

【主要工事の概要】

・受益面積	・主要工種
1,066ha	排水路 : 3条 L=11.2km

2. 地域の環境に対する考え方

(音更町・土幌町田園環境整備マスタープランより)

【現状】

- ・ 河川の排水路化・林地の減少など生産性の向上が生態環境に影響し、単調な空間形成の要因となった。
- ・ 河岸段丘や耕地防風林など、「緑」が多く残されている。

【課題】

- ・ 農村空間は、自然環境保全など多様な機能を提供しており、地域条件に応じた自然環境などの適切な調和が重要

【環境保全の基本的考え方】

- ・ 地域条件に応じた生産・生活・自然環境の適切な調和
- ・ やすらぎ・快適さのある農村環境の創出
- ・ 河川空間の整備、河岸段丘の保全
- ・ 耕地防風林を保全

3. 富秋地区における環境との調和への配慮

【基本方針】

地域の環境保全に対する基本方針を踏まえ、施設の整備にあたっては、自然環境や生態系への影響を最小限にする工法を採用するなどの配慮を行う。

【取組内容】

- 水辺環境に配慮した護岸による整備
 - ・ フトン箆護岸を採用し、魚類の生息環境に配慮する
 - ・ 排水路の法面を自然繊維植生シートで被覆し、河岸植生の早期回復に配慮する
- 林帯、水辺環境に配慮した路線線形
 - ・ 農村景観及び緑のネットワークにおいて、重要な要素となっている河畔林、段丘林を回避・保全する
- 水生動植物類の生息環境に配慮した施工
 - ・ 排水路の施工に際しては、沈砂池や濁水処理施設を設置し、水生動植物類の生息環境に配慮する
- 景観的配慮
 - ・ 林帯の連続性を保全することにより、農村景観に配慮する



十勝平野(富秋地区)の農村景観